



常葉大学短期大学部日本語日本文学科 「休み時間の学生同士の会話」篇 40 秒

ブロック賞受賞！

「JFN ラジオ CM コンテスト 2021～ラジオに乗せて、学校アピール～」は、ジャパンエフエムネットワーク（JFN）加盟38局と日本の次世代を担う全国の学生がタッグを組み、学生自身の学び舎をテーマに、自由な発想と表現力の発露の場を設けることを目的に行っているCMコンテスト。

日本全国の大学院生・大学生・短大生・専門学校生・高等専門学校生が、自らが通う学校を20秒、もしくは40秒のラジオCMコピーとして自由に表現するコンテストです。

過日、特別審査員3名、弘兼憲史氏（漫画家）、谷山雅計氏（コピーライター）、箭内道彦氏（クリエイティブディレクター）による審査を経て各賞が決定。

常葉大学短期大学部日本語日本文学科2年の神谷真理子さん、與五澤なつきさん、丹羽野々華さんがコピーを制作し、出演した「休み時間の学生同士の会話」篇40秒が、ブロック賞（関東甲信越静岡地区）を獲得しました。

作品は「今日のランチに何を食べるか？」を古語によって友達に提案する、というシチュエーションで、「日本語の奥深さ」をテーマにしたもの。

リアリティを出すためにCMコピーを考えた神谷さん、與五澤さん、丹羽さん自らが出演して制作されました。

本来は7月15日に東京・半蔵門のTFMホールで行われる「JFN賞2021授賞式」で表彰される予定でしたが、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から授賞式が中止されたため、7月21日、常葉大学草薙キャンパスにて授与式が行われました。



CMコピー制作、出演をした（左より）與五澤なつきさん、神谷真理子さん、丹羽野々華さん

常葉大学短期大学部日本語日本文学科 「休み時間の学生同士の会話」篇 40 秒

SE-IN (セミの鳴き声)
学生 A 「今日、暑ければいともうし」
学生 B 「え？」
学生 A 「いざ冷たきもの食はむ」
学生 B 「食はむ？」
学生 A 「さるほどに、いとつかれけれど」
学生 B 「ちょっと待って」
学生 A 「ひるげいかがせん？」
学生 B 「いや、だから！ちゃんと日本語話して」
SE-OUT
学生 A 「これぞ！ いまめかしき日本語ぞ」
学生 B 「はあ！？」
NA 知りましょう。日本語の奥深さ。
常葉大学短期大学部日本語日本文学科。

[完成した CM はこちらからお聴きいただけます](#)

なおこの CM は今後、K-mix、エフエム群馬、エフエム栃木、エフエムラジオ新潟、エフエム長野 各局でオンエアされる予定です。



(後列左から)

指導に当たられた日本語日本文学科 宮本淳子
准教授 (元 K-mix アナウンサー)
常葉大学短期大学部副学長 小田寛人 教授
日本語日本文学科長 小野田貴夫 教授
静岡エフエム放送 井熊正浩 代表取締役社長

